



長野県福祉大学校便り

令和6年3月
第23号

3月5日(火)、令和5年度 長野県福祉大学校卒業式が執り行われ、保育学科46名、介護福祉学科8名 計54名が、それぞれの夢に向かって羽ばたいていきました。様々な人と繋がりを深めた、充実した1年。

支えていただいた多くの皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



令和5年度 卒業生進路 (令和6年3月15日現在)

	保育学科	介護福祉学科
公立保育所	22名	2名
私立保育所	1名	1名
幼稚園・認定こども園	2名	1名
私立児童福祉施設等	4名	
私立社会福祉施設等		4名
進学(本校介護福祉学科)	16名	
その他	1名	
卒業生数	46名	8名



祝 全国保育士養成協議会 会長表彰

古町 萌

今回会長表彰をいただけることをとても光栄に感じております。

この2年間はレポートやスクーリング、苦手なピアノに追われる目まぐるしい日々でした。この2年間を乗り越えることができたのは隣で支えてくれた仲間の存在があったからだと感じています。

先生方からの厳しくも温かいご指導や、実習での子どもたちの笑顔から、子どもと関わっていくことの責任感や楽しさを身に染みて感じました。

福祉大で学んだことを糧にこれからの人生を歩んでいきたいと思えます。ありがとうございました。



保育学科1年

み なさんと出会ってから早や1年。学生会を引っ張る立場になり、保育園や施設等での実習を終え、また卒業記念音楽会も終えて、30期生の仲も深まりそれぞれ少しずつ自信がついてきていますね。2年生になると、自分の夢に向かってさらに自ら選択し、力強く切り拓いていくことになります。保育学科折り返し、あともう1年です。みんなであつまい切磋琢磨し、充実した学生生活を送ってくださいね。
「♪～風に咲く一輪 僕たちも花になれる」

担任 松浦 亜紀子

実習を終えて

初めての实習ということもあり、緊張と不安でいっぱいでしたが、職員の方々子ども達が温かく迎えてくださり、無事に終えることができました。

特に印象に残っていることは、それぞれ異なる年齢の子ども達との関わり方です。いかに関わっていくか模索する毎日でしたが、学校での学びを実践すること、そして何よりも職員の方々親身になってアドバイスをくださったことで、それぞれに合った関わり方を見つけることができました。

職員の方々からの学びに加え、子ども達から学ぶことも多くあり、充実した実習となりました。今回の施設実習、保育実習での経験を今後生かしていきたいです。

日下部 杏佳



卒業記念音楽会 高林 敦樹

今年度最後の行事となった卒業記念音楽会が行われました。

1年生は9月頃から歌練習を始めました。私は指揮者としてどのように指揮をしていくか考えながら、クラスの仲間と曲を作り上げていくことができたと思います。1月から実習が始まりましたが、冬休み前の練習や最後の一週間の強化練習で意見を出し合い、調整していくことで仕上げる事ができました。

卒音当日はクラス曲、全員での合唱曲と頑張る事ができました。2年生や介護の先輩の曲はとても感動しました。2年生のミュージカルも素晴らしく、来年度は私たちが発表する側になるので、頑張っていきたいと思います。



1年間を振り返って 松井 彩

福祉大学校に入学して1年が経ちます。振り返ると沢山の出来事がありました。

入学当初、緊張と不安でいっぱいだった私達を、先輩方や先生方が笑顔で迎えてくださいました。おかげで私達は楽しく学校生活を送り始めることが出来ました。

ひまわり祭では学生全員が団結して素晴らしい思い出を作り、地域や保護者の方々にも来校していただくことが出来ました。

学生の団結の素晴らしさは、2月の卒業記念音楽会でも発揮され、

心に残る歌声とステージを創り上げることが出来ました。

2年生になると就職試験等があり、忙しく大変なこともあります。福祉大学校の仲間達と共に協力して、さらに素晴らしい学校を創り上げていきたいと思っています。



いぶき寮

小野澤 碧

卒業音楽祭を間近に控えた2月21日、いぶき寮食堂で寮総会と卒業生を送る会が行われました。コロナ禍で寮全体で集まることがなかなかできなかった1年間でしたが、年度終わりにたくさんの寮生が集まり笑顔が溢れる楽しい時間を過ごすことができました。

寮の仕事や生活など、色々なことを教えてもらった1年生が、先輩方への感謝の気持ちを伝えるため自分たちの力でこの会を開催しました。先輩方に心を込めた色紙やプレゼントを贈りました！

卒業生からは、在校生へ感謝の言葉とエールが贈られました。先輩方のような明るく、楽しいいぶき寮を目指して頑張ります！最後に笑顔で、はいチーズ！



いぶき寮

保育学科 2年

祝 福祉大学校を支援する会「白樫賞」



滝澤 花子

私は「子どもが楽しむ音楽活動」をテーマに、研究を行いました。福祉大に入学し、日々音楽に触れる中で元々好きだった音楽がさらに好きになりました。

4月からは介護福祉学科での学びがスタートしますが、子どもや高齢者など多くの方と音楽を通して楽しめるような活動ができるよう、さらに学びを深めていきたいと思っております！

がむしゃらに生きて誰が笑う？

「ご存じの通り、皆さんが披露した合唱「僕のこと」の一節です。インターネット上でも、身の回りでも、人が自分より上手にやっている様子はいくらでも目に飛び込んできます。「わざわざ自分がやらなくても」とためらうこともあるでしょう。でも、この2年間で皆さんが「僕のこと」としていっぱい笑ったり泣いたりできたのは、自分自身で考え、動き、体験したからです。これからも、良い意味で「自分本位」に、がむしゃらにやってみてください。そして様々な未知の自分を見つけてください。応援しています。

担任 竹村 智子



卒業式 答辞

宮澤 歩那



学校生活を振り返ってみると、入学してからの2年間は、瞬間に過ぎていきました。保育士という夢へ歩み始めた私にとっては、とても充実した、かけがえのない時間となりましたが、それと同時に、この学校での学びは、私が想像していた何倍も辛く、大変なものでした。しかし、そのような困難に立ち向かいながらも、努力を重ね続け、諦めずに最後までやり切ることができたのは、29期生という素晴らしい仲間と巡り会い、みんなで励まし合いながら、乗り切ってくれたからこそであると思います。

これからは、福祉大学校での学びを信じ、思い出を糧にし、思いやりの心と感謝の気持ちを忘れずに、笑顔いっぱいの素敵な保育士となれるよう頑張ります。

さあ、ここからがハイライトだ！

小林 奎輝



振り返ってみると本当に濃くて忙しい2年間でした。楽しい感情も辛い感情もお互いに共有しながら一緒に乗り越えてきた仲間がこの29期生でよかったと、心から思います。この2年間で少しだけ大人に成長した僕たちは、4月から不安の多い道のりとはなりますが、それぞれの夢に向かって歩き始めます。

僕は介護学福祉学科に進学し、自分の夢に向かってさらに頑張っていきます。「さあ、ここからがハイライトだ！」

充実していた2年間

松下 夢奈



福祉大に入学し、毎日が充実していてあっという間に卒業の日を迎えました。この2年間、レポートやピアノ、実習など様々なことが重なり、大変なときもありました。大変なときは、1人で悩むのではなく、先生方や友だち、家族に相談することで乗り越えることができました。一つひとつ乗り越えてきたことで、自信にも繋がっています。

4月からは夢だった保育士として働きます。福祉大で学んできたことを思い出しながら頑張りたいです。

私たちの幸せの歌

根岸 佑圭



今年の卒業記念音楽会は、久しぶりに一般公開され、多くの来場して下さった方々に私たちの歌を聴いて頂くことができました。私は創作ミュージカルの舞台監督を務めさせて頂きました。全員揃うことが少なく、時間もありませんでしたが、皆で協力して、見ている人も、演じる自分たちも楽しいミュージカルが作れたのではないかなと思っています。

最後まで一緒に頑張ってくれた29期生、来場して下さい下さった方々含め、全ての方に感謝しかありません。有難う!!!



介護福祉学科

介護福祉学科29期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この便り第21号で約束した成長は提供できたでしょうか。連日の5時限授業、多くの実習その前後のレポート、実技試験、ケアコン、国家試験、事例研究etc. 本当に沢山の課題を課してきましたが、一人も漏れることなく、また期待以上の成果で応えてくれました。介護福祉学科の1年間はきっとこれからの人生の糧になるはず。自信を持って新たな道で大きく羽ばたいてください。

介護福祉学科担任 水石 晃



祝 日本介護福祉士養成施設協会会長表彰 長野 奈々

介護福祉学科での1年は発想力と柔軟性の大切さを強く実感しました。利用者の支援を考えるにあたり、クラス8人の仲間であつても大切にしたい思いや意見はそれぞれにあります。つまり、自分では気づかなかった発想に出会った機会でもありました。中には、自分とは180度異なる意見や思いがあり、自分の視野を広げるきっかけにもなりました。この1年を通じて、発想力と、物事を柔軟に考えることの大切さに気づくことができたと感じています。

たくさんの方々の支えがあり、1年間という短い時間の中でたくさんの学びを得ることができました。学びを与えてくださった全ての方々へ感謝を申し上げます。そして、福祉大学校で得た学びを現場で活かし、恩返しできるような頑張りたいです。ありがとうございました。



祝 福祉大学校を支援する会「白樫賞」 磯田 弓杏

1年間を通して、利用者へのオンリーワンの支援とは何か学んできました。私はオンリーワン支援のためには利用者のことをよく見てよく関わり、その人を知るといことがとても大切だと考えます。実習中は考えれば考えるほど支援が利用者にあっているのか分からなくなり、自分のひとりよがりな支援になっているのではないかとたくさん悩みました。計画を実施し、関わりを深めていく中で利用者の表情や言葉が最初よりも明るくなる姿を見て、実施して良かったと思うことが出来ました。利用者を知るといことがオンリーワン支援には欠かせないことだと実感しました。

事例研究をまとめるにあたり、たくさんの方々に支えて頂きました。協力して下さったみなさんのおかげで白樫賞を受賞することが出来ました。本当にありがとうございます。これからも利用者を知るといことを大切にし、利用者へのオンリーワン支援をしたいです。また、介護福祉士として今まで得た学びを大切に頑張っていきます。



学生生活を振り返って



保育学科、介護福祉学科での3年間はとても貴重なものになりました。時には大変なこともあったけど、素敵な仲間たち、そして優しくサポートして下さった先生方、いつも見守ってくれた家族、他にも多くの方々のお陰で乗り越えることが出来ました！これからは福祉の道のプロとして、支援を必要とする方の生活を支えられる存在になりたいです！

黒石 珠希



介護福祉学科での1年間はあっという間でした。実習や国家試験、事例研究等大変で辛いこともありましたが、それ以上に友人との日々の生活や文化祭が楽しかったです。実習の間にあった文化祭は、忙しい中でしたが、介護福祉学科8人と先生3人の11人全員でステージに立つことができて本当に嬉しかったです！初めはやっていけるか不安でしたが、みんなと一緒に頑張ったおかげで無事卒業できました！ありがとうございました♡

原山 莉奈



介護福祉学科に入学してからは新しい学びばかりで悪戦苦闘の連続でした。しかし、講義や実習を通し、実践していく中で様々な知識や技術を習得することができました。また、3年間という福祉大での濃い学生生活を乗り越えられたのは仲間のおかげだと思います。みんな本当にありがとう。これからも、学ぶ姿勢を忘れずに自己研鑽に努めていきたいです。

塩入 未織



保育学科・介護福祉学科の3年間では、心優しくて真面目な友人たちと出会い、辛いこと楽しいことなど沢山のことを経験して学ぶことができました。特に介護福祉学科の1年間は、この8人だったからこそ協力して支え合って乗り越えられたので本当に感謝の気持ちでいっぱいです。福祉大の先生方のおかげでマイペースすぎる私も楽しく頑張ることができました。本当にありがとうございました😊これから、お互いの道で頑張りましょう!!

松川 亜美



介護福祉学科での1年間、実習やテスト、国試の勉強など忙しく大変な学校生活を乗り越えられたのも、29期生のみんな、先生方に恵まれ支えて下さったおかげです。本当にありがとうございました。みんなにまた会えたときには、幸せや喜びに寄り添いながら、福祉という素敵な仕事に携わっていることを胸を張って言えるように、みんなが好きだと言ってくれた笑顔が絶やさず頑張るね！私もみんなのかわいい笑顔が大好きだよー！

長尾 美優季



介護福祉学科での1年間は保育の2年間以上に目まぐるしく、だからこそすごく充実していました。私はルーム長としてクラスを支えていけるかとても心配でしたが、何事にも話し合いを重ね、協力し合い乗り越えることが出来たと感じます。この1年間は知識や技術だけでなく利用者と一緒に働くことで働くことの大切さを学びました。とても忙しい1年間でしたが、福祉人材として多くのことを吸収した分を今後に活かしていきたいです。

ルーム長 山田 倅来

